

第1回 次世代を担う若手のための レギュラトリーサイエンスフォーラム 2015

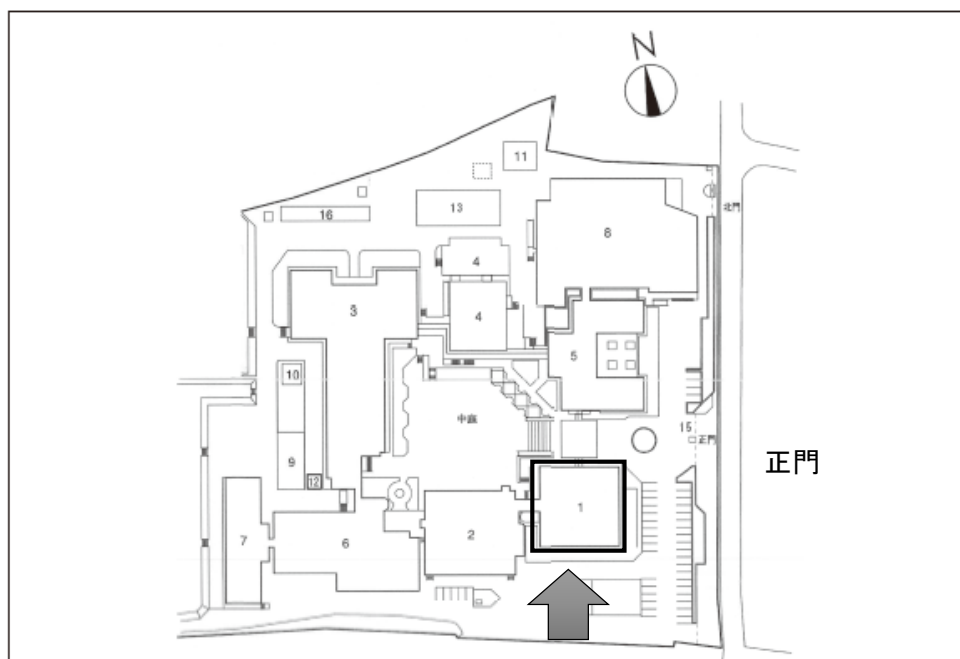
日 時： 平成 27 年 9 月 12 日（土）
会 場： 日本大学薬学部 1 号館 3 階 131 号室、138 号室
（千葉県船橋市習志野台 7-7-1）
（第 59 回日本薬学会関東支部大会と同時開催）
参 加 費： 無料（第 59 回日本薬学会関東支部大会の参加費は必要）
主 催： 日本薬学会レギュラトリーサイエンス部会
実行委員長 頭金 正博（名古屋市立大学大学院薬学研究科）

特別講演：13:30～14:30
1 号館 3 階 138 号室
一般発表（ポスター発表のみ）：11:00～16:00
1 号館 3 階 131 号室
優秀発表表彰式、閉会式：一般発表終了後
1 号館 3 階 131 号室

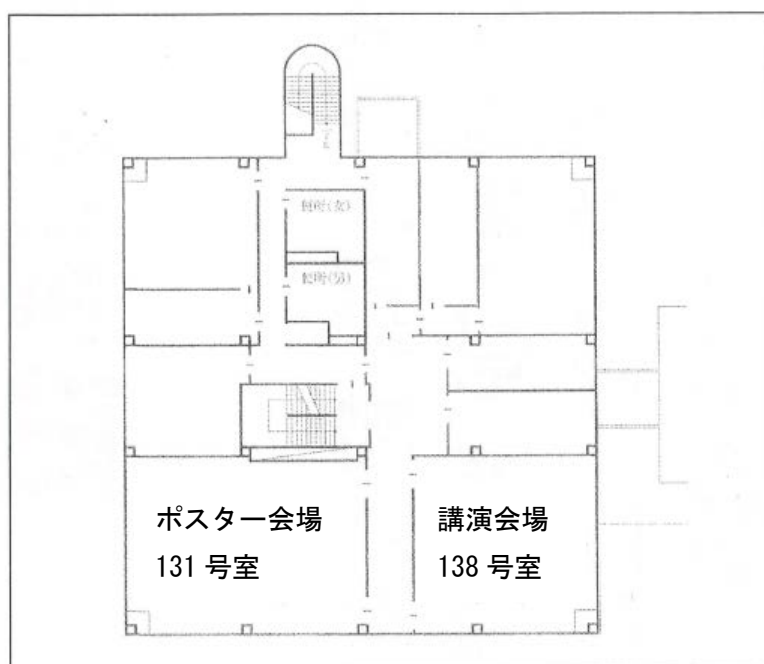
問合せ先：〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通 3-1
名古屋市立大学薬学部 医薬品安全性評価学分野
RS 次世代フォーラム事務局
rs-wakate@phar.nagoya-cu.ac.jp

会場案内図

日本大学薬学部校舎 建物配置図



1号館3階



ご案内

■参加者の方へ

1. 参加手続き

参加費は無料ですが、受付にて参加登録用紙に必要事項をご記入下さい。
要旨集、ネームプレートをお渡しします。

2. 受付

場所：日本大学薬学部 1 号館 3 階 131 号室（ポスター会場前）
時間：10:30～16:00

3. ご注意

- 1) 会場内では携帯電話は、マナーモードに設定していただくか、電源をお切り下さい。
- 2) 特別講演やポスターの撮影や録音はご遠慮下さい。

■発表者の方へ

一般発表（ポスター発表のみ）

1. 会場

発表会場は、日本大学薬学部 1 号館 3 階 131 号室です。

参加費は無料ですが、受付にて参加登録用紙に必要事項をご記入下さい。

要旨集、ネームプレートをお渡しします。

2. 発表について

- 1) 発表者は 10:30～11:00 に会場に備え付けのピンを用いてポスターを掲示して下さい。ポスターボードの大きさは、縦 210 cm 横 90cm、ボード左上に講演番号が示されています。発表題目、所属、氏名（発表者に○印をつける）と発表内容を掲示して下さい。ポスターの掲示時間は 11:00～16:00 です。16:00 になりましたら撤去を開始し、16:30 までに完了してください。
- 2) 説示時間は、14:30～15:30 です。発表者はリボンを着用してボードの前に立ち、発表内容を説明できるようにご準備下さい。

3. 優秀発表賞について

全演題の中から優れた 35 歳以下の発表者に対して優秀発表賞（3 件以内）を授与します。優秀発表表彰式を一般発表終了後（16 時～）に 1 号館 3 階 131 号室で行います。発表者をご参加下さい。

第1回 次世代を担う若手のための

レギュラトリーサイエンスフォーラム 2015 プログラム

特別講演 「PMDA とレギュラトリーサイエンス」

講師：独立行政法人医薬品医療機器総合機構 理事(技監) 北條 泰輔 先生

時間：13:30～14:30

場所：1号館3階 138号室

一般発表（ポスター発表のみ）

ポスター掲載時間：11:00～16:00

ポスター説示時間：14:30～15:30

優秀発表表彰式、閉会式

時間：ポスター掲載時間終了後（16時～）

場所：1号館3階 131号室（ポスター会場）

一般発表（ポスター発表）

- P1 スイッチ OTC の有効性及び安全性の確認をするため新たに開発した市販後調査手法の評価
(¹ 日本大薬)
○中島理恵¹、白神誠¹
- P2 企業経営への RMP としての副作用対策の在り方
(¹ 日本大薬)
○池田博美¹、中島理恵¹、白神誠¹
- P3 C 型肝炎治療薬バニプレビルの経済分析
(¹ 日本大薬)
○小澤優¹、中島理恵¹、白神誠¹
- P4 トホグリフロジン水和物の特徴と経済分析
(¹ 日本大薬)
○笠原拓未¹、中島理恵¹、白神誠¹
- P5 イバンドロン酸ナトリウム水和物の特徴と経済分析
(¹ 日本大薬)
○中嶋美和¹、中島理恵¹、白神誠¹
- P6 製薬企業のプロモーション活動における問題点
(¹ 日本大薬)
○関隆晃¹、中島理恵¹、白神誠¹
- P7 FDA ガイダンスが日本における糖尿病用薬開発に及ぼす影響
(¹ 岐阜薬大)
○松本朋子¹、森大知¹、和氣宗¹、大西卓¹、松丸直樹¹、塚本桂¹
- P8 RMP における患者向医薬品情報の評価方法に関する研究
(¹ 昭和薬科大、² 東京理科大)
○菊池亮太¹、徳永拓志¹、佐藤茜¹、小久保綾乃¹、山本健¹、佐藤嗣道²、山本美智子¹
- P9 禁煙治療時の抗うつ薬投与と自殺リスクとの関係
(¹ 城西大薬)
○秋元勇人¹、大島新司¹、根岸彰生¹、大原厚祐¹、井上直子¹、大嶋繁¹、小林大介¹

- P10 有害事象自発報告データベース（JADER）を用いた間質性肺炎に関する医薬品の有害事象-時間解析
(¹岐阜薬大、²メディカルデータベース、³岐大院)
○松井利亘¹、加藤大和¹、上田夏実¹、阿部純子^{1,2}、中山蓉子¹、羽根由基¹、紀ノ定保臣³、中村光浩¹
- P11 医療情報データベースを活用した副作用としての急性腎障害の検出に関する研究
(¹名市大院薬、²浜松医大病院医療情報部、³浜松医大病院薬)
○山下彩花¹、山田健人¹、脇田真実子¹、小川喜寛¹、渡邊崇¹、木村通男²、堀雄史³、川上純一³、頭金正博¹
- P12 有害事象自発報告データベースを用いた副作用発症リスクの地域差に関する研究
(¹名市大院薬)
○河合加奈¹、小川喜寛¹、頭金正博¹
- P13 有害事象自発報告データベースを用いた経口抗凝固薬の出血性副作用発症リスクの地域差の検討
(¹名市大院薬)
○西川良平¹、小川喜寛¹、河合加奈¹、頭金正博¹
- P14 医薬品副作用データベース（JADER）を用いたモガムリズマブ投与による皮膚障害発症のリスク因子の検討
(¹名市大院薬)
○井口祐美子¹、小川喜寛¹、頭金正博¹
- P15 薬学生の寄与が可能な災害時医療支援活動に関する調査研究
(¹武蔵野大薬)
○中里豊¹、大室弘美¹
- P16 siRNA 封入リポソームの物性評価と自然免疫応答に関する研究
(¹国立衛研)
○阿部康弘¹、加藤くみ子¹、合田幸広¹
- P17 HLA-B*57:01 と Abacavir 特異的な in vitro 細胞傷害活性評価系の構築
(¹名市大院薬)
○田村花梨¹、長部誠¹、井口祐美子¹、岡本秀人¹、頭金正博¹
- P18 次世代シーケンサーを用いた HLA タイピング法と従来法（HLA-SSP 法）との比較・検討
(¹名市大院薬、²福岡大医、³名市大院医、⁴愛知医大)
○横田俊¹、長部誠¹、頭金正博¹、石塚賢治²、石田高司³、伊藤旭³、李政樹³、飯田真介³、上田龍三⁴、

- P19 新規医用材料開発における一次スクリーニング法としての分子動力学的シミュレーションの応用
(¹ 国立衛研)
○植松美幸¹、齋島由二¹、中岡竜介¹、新見伸吾¹
- P20 医療機器の血液適合性試験法の改定に向けた取り組み
(¹ 国立衛研、² 川澄化学、³ 食品薬品安全センター、⁴ テルモ)
○野村祐介¹、福井千恵¹、森下裕貴¹、柚場俊康²、新藤智子³、坂口圭介⁴、谷川隆洋⁴、杉山知子⁴、竹ノ内美香⁴、河上強志¹、伊佐間和郎¹、新見伸吾¹、齋島由二¹
- P21 食品中汚染物質の安全性評価における肝細胞肥大の毒性学的特徴の解明：農薬のインビボ毒性試験結果を用いた解析
(¹ 静岡県大薬、² 東北大院薬)
○増田茜¹、増田雅美¹、吉成浩一^{1,2}
- P22 メチルパラベンを内標準物質とする既存添加物「酵素処理ルチン（抽出物）」HPLC定量分析法の確立
(¹ 国立衛研)
○西崎雄三¹、多田敦子¹、石附京子¹、加藤智久¹、秋山卓美¹、穠山浩¹、杉本直樹¹、佐藤恭子¹
- P23 市販流通食品の放射性物質濃度の実態調査
(¹ 国立衛研)
○植草義徳¹、鍋師裕美¹、前田朋美¹、林恭子¹、五十嵐敦子¹、曾我慶介¹、亀井俊之¹、中村里香¹、渡邊敬浩¹、穠山浩¹、蜂須賀暁子¹、松田りえ子¹、手島玲子¹、堤智昭¹
- P24 未承認遺伝子組換え食品検知法の開発：未承認遺伝子組換えジャガイモ検知を例に
(¹ 国立衛研、² 食総研)
○中村公亮¹、石垣拓実¹、坂田こずえ¹、福田のぞみ¹、野口秋雄¹、穠山浩¹、近藤一成¹、真野潤一²、高畠令王奈²、橘田和美²、最上（西巻）知子¹
- P25 家庭用品中のアゾ化合物規制について
(¹ 国立衛研)
○河上強志¹、伊佐間和郎¹、五十嵐良明¹
- P26 機械学習法を用いた化学物質誘発性肝肥大の予測手法の開発
(¹ 名市大院薬)
○石原佳奈¹、安部賀央里¹、田村空彌¹、柴田郁弥¹、頭金正博¹